

9月10月、東北支援賛美（うた）の旅 報告

【9月盛岡/宮古】

- 8日（火） 新幹線にて移動 大阪→東京→盛岡
9日（水） 午前中 盛岡聖書バプテスト教会・婦人会にてコンサート
10日（木） 朝、盛岡→宮古 車にて移動
10日（木） 午前 グリーンピアグラウンド仮設 コンサート
10日（木） 午後 田老ふれあい荘（ハーブコンサート） ゲスト賛美
11日（金） 午前 石峠仮設 コンサート
11日（金） 午後 エフビー仮設 コンサート
12日（土） 午前 愛宕仮設 コンサート
12日（土） 午後 宮古コミュニティーチャーチ 伝道コンサート
13日（日） 午前 宮古コミュニティーチャーチ 礼拝特別賛美
13日（日） 午後 宮古社会福祉協議会 わくわくまつり出演
13日（日） 宮古→バスにて盛岡→新幹線にて東京→大阪→帰宅



岩手は、現地では「3.11いわて教会ネットワーク」また、派遣元としては「ゴスペルトレイン to 東北」を通して活動をさせていただきました。

宮古は昨年もうかがった場所ですが、今年はぜひ、「わくわくまつり」に出演をとということで、お声をかけて頂き、仮設住宅、教会、またわくわくまつりで歌わせていただきました。

また今年は、昨年、宮古からの帰りに寄らせていただいた盛岡聖書バプテスト教会でも、婦人会でコンサートをさせていただくことができました。

宮古では、昨年はお会いできなかったボランティアスタッフの方との出会いや、聖玉川学院高校のOGの方が4名、ボランティアに来られ、ご一緒することができたことも、貴重な経験でした。

昨年同様、スタッフのCatがずっと同行して、カラオケの操作をしてくださり、心強い限りでした。

今年、宮古では、被災地見学に行く時間を取りませんでした。さまざまな、被災地の現状について、お話をお伺いすることができました。

- ・復興住宅に入れる方、入れない方の格差。
- ・復興住宅での人間関係によるストレス。（震災前、震災後、どちらとも違う新しい環境）
- ・仮設住宅の統廃合（縮小）により、復興住宅ではなく、仮設住宅間での引越しによるストレス。

・復興住宅ではない戸建て住宅に引っ越された方々のストレス。

簡単に書きましたが、その問題は、一つ一つ、覚悟家庭によって違っており、問題は、ますます複雑になっていると感じました。

都市部は、復興が進んでいるように見えますが、一般の方が多く住んでおられる場所では、復興が遅々として前進していない様子が見えませんでした。

【10月福島・いわき/郡山/福島】

18日（日）夜行バスにて移動 大阪→いわき

19日（月）いわき着。被災地見学、リハ

20日（火）午前、いわき、福島第一バプテスト教会、ちょっとカフェコンサート

21日（水）午前いわき、郷ヶ丘バプテスト教会、婦人会コンサート

21日（水）夜、郡山キリスト福音教会、復興支援チャペルコンサート

22日（木）郡山、神の愛キリスト教会訪問

23日（金）午前 南相馬原町、聖愛保育園コンサート

24日（土）午後 福島聖書バプテスト教会チャペルコンサート →新幹線にて東京へ

25日（日）東京・御茶ノ水と埼玉・川口の礼拝でミニコンサートの後、夜行バスにて大阪へ

26日（月）朝、大阪着

今回の福島への賛美（うた）の旅は福島第一聖書バプテスト教会の会員であり、現在は会津にて避難生活をしておられる一人の姉妹と、インターネットを介して知り合ったことにはじまりました。

その方のご紹介で、福島第一聖書バプテスト教会で、10月のちょっとカフェでのコンサートが決まりました。

特定のボランティアネットワークとのつながりのない福島の地では、自分で一つ一つその奉仕先を見つける必要があります。10月20日ごろに福島に行く、ということだけを頼りに、存じ上げている牧師先生に私にできることをさせて頂きたいとの願いをお伝えし、少しずつコンサートの予定が決まって行きました。

そのような経緯で、福島では仮設住宅ではなく、「教会とそこに集われる方を励ます」ことを中心としたお働きをさせていただきました。これもまた必要であったと感じています。

またその中でも、初めて教会にこられた方もたくさんおられたり、私自身も感謝な出会いがたくさんあったり恵みの時となりました。

また特に、今回は福島の、特に原発に関連した被災地に2回、訪問させていただくことができました。

1回は、富岡町から浪江までの6号線沿いやいわきの仮設市場など。もう1回は、南相馬の原町区から小高区にかけての6号線沿いや、帰還準備中の町など。



富岡町、とても綺麗な桜並木ですが、住む事はできません。さらにその突当たりはこんな風に柵の前に見張りの方が立っておられ、立ち入ることさえできません。

福島は、原発の問題もあるため、問題は一層複雑です。

逆に、原発問題ばかりが注目されますが、津波の被害も、他の地域と同様に甚大です。

家が倒壊した光景は、阪神淡路大震災でも嫌というほど目にしましたが、4年半たってもこのような状況というところに、愕然としました。

線量計は、車の中で撮影したもので、撮影できたのは一番高いもので $5.17 \mu\text{Sv}$ でしたが、実際には一番高いところは $7.0 \mu\text{Sv}$ を超えていました。車の中でこの値ですから、外はどんなになっていることでしょうか。



そんな中でも、福島のみなさんは、自分たちにできることをしながら精いっぱい生きておられました。

岩手も、福島も、もちろん、私がうかがうことのできていない、たくさんの地域のみなさんも、同様だと思います。

ただ、実際には、まだまだ支援の必要なところがたくさんあることを痛感しました。

問題が山積する中で、私にできることはほんの小さなことでしかありませんが、私にできることがあれば、支援の働きを続けさせていただきたいと、あらためて心に刻んで帰ってきました。

今回、岩手でも福島でも『また来てください』『うちにも来てください』との声を頂いたことは、私にとっては感謝なことです。

一刻も早く、このような支援の必要のない時が来てほしいと願いつつ、引き続き、来年も東北に行かせていただこうと思っています。

今までは、自費ボランティアであったために交通費などを考えて、できるだけまとまった日数を取って1年に1度乃至2度行っておりましたが、来年からは、もう少し期間を短くして、数回行けないかと考えています。

その資金のために、新しいCDを発売させていただくことにしました。

今まで3枚のCDを発売させていただきましたが、その3枚のCDから、ぜひ、より多くの方にお聞きいただきたい曲を集めてベストアルバムとさせていただく予定です。

その中で1曲は、新しく録音させていただく曲ですが、特に再販のご要望の多いファーストアルバムの曲を中心に選曲しています。

当初は、曲数を少なくして価格をさらに安く、と考えましたが、どうしても絞り切れず、曲数が多くなってしまったこと、また正直に申し上げまして、普段から、CDの価格設定をとて安くさせていただいていることもあり、これ以上価格を下げることはできませんでした。

10曲入り、1500円のCDとなります。プレゼントに用いて頂ければ幸いです。